

修羅部

中井川侑平

向こうの方がきっと　あなたのためになるわ

従順な少年は

生命線のような坂道を

一本　二本　三本超えて

ようやくたどり着いたのは　修羅の門

鴨はまだ来ない

今のうち　帰れるのは　今のうち

帰れ

その刹那　少年の脳は　麻酔にかけられて
気づけば足を踏み入れている　修羅

藍色の袈裟にくるまれた　自信のなさそうな少年は
もう　気が抜けてしまった
向こうにいる少女たちは　少年を鼓舞して
まだ　人間らしさに溢れている

鴨が来た

鴨がどうした

鴨には一筋の道理もない

鴨は幼い娘がいるのに煙草を吸う

鴨は煙草が足りなくなるとすぐに修羅からいなくなる

鴨にとって弱いものをいじめることは煙草を吸うことと同じ

鴨には罪の意識がない

鴨を特別にさせるものは 本当は何もない

修羅に響く 鴨の唸り

修羅に響く 少年少女の叫び

修羅に響く 竹の弾み

修羅に響く 少年の名前

ただ絶叫する少年

鴨は決して満足しない

少年は真っすぐに その目を見る

しなる腕 地鳴る足 少年の阿鼻叫喚
鴨によって完全に覆いつくされた修羅
少年と少女を失った人間たち

しなる腕 地鳴る足 人間たちの阿鼻叫喚
心を一つに修羅を作る

心を一つに修羅になる